

# たまたか

1997

6

No.370

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA

素敵だね！

人と緑のシンフォニー

後世に伝えよう

自然の大切さ



石川地方植樹祭から

# 平成9年度 石川地方植樹祭

# 「東野の森」に新たなページ

阿武隈、奥久慈地域の林業発展に寄与することを目的とした平成9年度の石川地方植樹祭は、国土緑化石川地方推進委員会、棚倉営林署、前橋営林局森林技術センター、玉川村緑化推進委員会の主催、石川森林組合の協賛で、平成9年5月28日(水)午前10時30分から四辻新田字東野地内の国有林で行われました。

当日は、好天に恵まれ、新緑の美しい東野の渓流を望む会場には、関係者等約400名が出席して、記念式典と記念植栽が行われました。



植栽後に石川地方の各首長と児童で記念撮影

記念式典では、主催者の国土緑化石川地方推進委員長の富永健哉、川町長があいさつ。また、富沢棚倉営林署長からも「森林は、木材の生産とともに水源の涵養、災害防止など人間社会が生きる上で大切なもの。また、この地は、自然景観が豊かなことから「青井沢スポーツ林」として住民の憩いの場に活用されることに期待しています」とのあいさつがなされました。

開催地を代表して車田村長が歓迎のあいさつで、関係機関等への御礼と、当地が「青井沢スポーツ林」としての指定を受けたことから、自然と共存する森林づくりへの意欲が述べられました。



吉村会長(左)と塩田組合長

## 緑の保全に貢献

記念式典では、緑化事業に貢献された団体、個人に国土緑化石川地方推進委員会委員長から表彰状、棚倉営林署長から感謝状が贈られました。

本村から玉川村桜愛好会、全戸村幸雄会長に国土緑化石川地方推進委員会委員長表彰が、

四辻新田愛林組合(塩田征二郎組合長)に棚倉営林署長感謝状がそれぞれ記念品とともに贈られました。

玉川村桜愛好会は、山桜の苗を村内に広く植林して緑化活動に尽力されたこと、また、四辻新田愛林組合は、四辻地区の国有林の保全活動に協力されたことが認められての受賞となりました。



開催地を代表して車田村長の歓迎のあいさつ

## 杉苗五〇〇本を植栽

記念式典会場から東野清流の遊歩道を歩いて、約四百メートルほど離れた植栽会場に移動。記念式典の参加者と近くで開かれていた森林学習に参加していた児童も加わって、杉の苗の植栽が行われました。

児童たちは、森林技術センターの職員の方々に植栽する際の土の掘り方や苗の植え方などを指導してもらいながら記念植栽を行いました。



トン汁を配る組合員の皆さん

## 森林学習

玉川一小と須釜小から児童90名が参加して森林教室が開



目かくしをとって、木肌を確認(森林教室より)

に線香を置いておき、線香を探し出すことなど、ゲーム感覚での教室は、大変好評でした。

また、人間社会と森林との共生や、森を守ってゆくことの大切さを学びました。

四辻新田愛林組合が協力の愛林組合

四辻新田愛林組合では、植樹祭の記念式典の会場準備や昼食用のトン汁の準備などに協力しました。

特に、清流から竹筒で引き水をした水飲み場や手洗い場の作りは、自然を利用した洒落た作りになっており、参加者から好評でした。



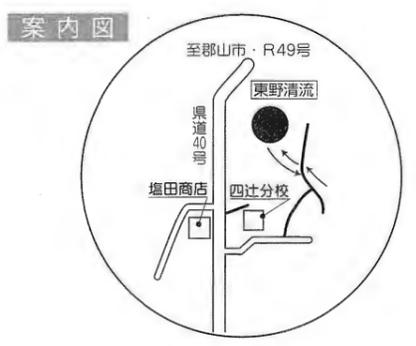
▲石川地方植樹祭に先だって5月23日(金)午後から東野清流の記念碑除幕式が関係者ら20名が出席して行われました。この記念碑は、「青井沢スポーツ林」として指定を受け、今後、住民の憩い場として、広く活用され、後世に引き継ぐ証として村が設置しました。

## 家族づれで 森林浴をどうぞ

今回の植樹祭の会場となった東野の清流は、豊富な緑と水が織りなすシンフォニー。遊歩道が整備され、家族づれでのピクニックにはピッタリです。昼食を用意して森林浴をしてみたいいかがでしょうか。



東野の清流



# 平成9年度 東京玉川会総会 in TOKYO

## 再会を喜び情報交換

平成9年度の東京玉川会の総会は、6月1日(日)正午から東京都文京区の茗溪会館で開催されました。総会には、会員63名が出席し、平成8年度の事業及び決算報告、平成9年度の事業及び予算が協議されました。

また、設立時から昨年までの4期(8年間)会長職を務められた熊田藤作前会長(公務により欠席)に感謝状が贈られ、今後は顧問として会の指導を頂くことが承認されました。

役員選出議案では、幹事を1名増やすことが提案され磯田幸男さん(川辺出身・豊島区)が選任されました。

## なま ふるさとの訛りなつかし玉川会



総会であいさつする大木会長



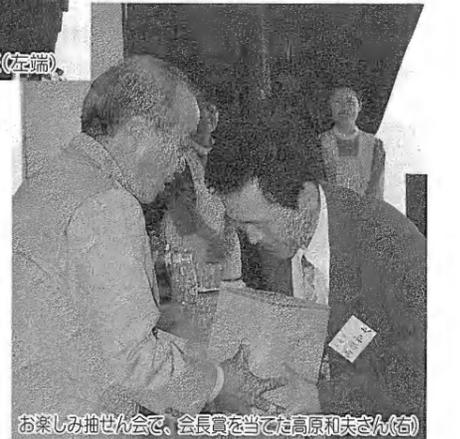
新幹事に選任された磯田幸男さん



アトラクションで出演した講師の一龍斎貞花師匠(左端)



カラオケで熱唱する鈴木理子さん



お楽しみ抽せん会で、会長賞を当てた高原和夫さん(向)

## 会員200人到達

総会が終了すると、懇親会が開かれ、新たに会員になられた方々の紹介がされました。この度、会員数は、200名になりました。

玉川村からは、車田村長はじめ各種団体の代表者ら21名も参加して和やかな雰囲気で行われました。

普段は、都会風の語り口も古里の仲間と会うと「訛り」が出て、ふるさとの思い出話や近況の事などに話が弾んでいました。

また、アトラクションではお楽しみ抽選会が行われ、役員と村から提供された賞品が当選された会員に贈られました。



総会が終わって懇親会が始まり、リラックス



写真を見ながら談笑

## シリーズ 都市計画

終

### 接道の義務とは

都市計画に指定されると建築基準法に基づく建築確認の申請が必要となります。

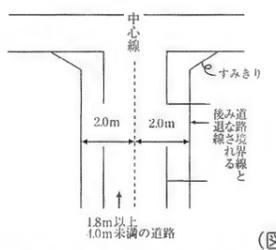
建築物の新築及び改築、増築(3坪以上)を行う場合には建築基準法第6条の規定により建築確認が必要になります。この建築確認を受ける際の大事な条件の一つに「敷地の接道義務」があります。

これは、建築物の敷地が幅4メートル以上の道路に2メートル以上接しなければならぬという条件です。幅員が4メートル以上ないと道路としての機能(消防車・救急車の通行等)が果たせません。

4メートル未満の道路に接して建てている方々のためには、中心線から左右に振り分けて2メートルづつ後退した線を道路境界線とみなし、中心線から2メートル後退することにより、特例として建築が許可されることになってお

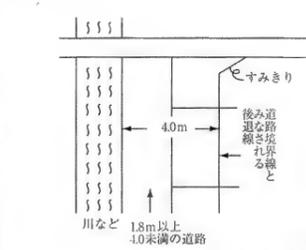
ります。ただし、中心線から2メートル未満で、川、がけなどのため道路にできない場合は、そのがけ地などの境界線より反対側に4メートルとること

1.8m以上4.0m未満の道路の場合



(図1)

(参考図) 河川・がけ地等の場合



(図2)

## 都市計画審議会 で先進地視察

玉川村都市計画審議会(小針康敬会長)では、5月19日に西郷村を視察しました。先進地である西郷村の都市計画は、平成7年8月に西白河郡1市1町6村(人口11万4千人)の規模で指定され、西郷村の面積の4割(人口の95%が居住)が指定区域となつています。

審議会委員は、都市計画指定のメリットや都市計画指定の住民へのPR方法などの説明を受けたあと、都市計画道路の新設、みなし道路の予算関係などについて活発な質疑をしました。

## ふれあいセンター所長に榊枝暉夫氏



榊 枝 暉 夫 氏(62才)

4月1日から空席だった玉川村ふれあいセンター所長に榊枝暉夫氏(六二歳)南須釜Ⅱが6月1日付で就任しました。2日に社会福祉協議会

## 防犯功労者で表彰

### 阿部 金四郎さん(南須釜)



表彰状を手にする阿部金四郎さん

玉川村消防団副団長の阿部金四郎さん(南須釜)は、5月30日に石川町で開かれた石川地区防犯協会連合会総会の席上で防犯功労者として表彰されました。

阿部さんは、消防団活動を通して、永年の防犯事業に尽力されたことが評価されての受賞となり、「これからも微力ではありますが、防犯活動に努めていきたいと思います」と話していました。

# ボランティアで「美しい村づくり」、道路沿線に花、花、花



八又地内の植栽マスで作業中の南須釜老人クラブの会員

花いっぱい運動の植栽作業が始まり、村内の11の単位老人クラブでは5月中旬にすべて作業を完了しました。南須釜老人クラブ(宗形清春会長)でも、5月31日早朝から、25名の会員により八又地内の植栽マスと県道矢吹〜小野線沿線にマリーゴールドとサルビアの苗約三千本を植え付けました。「きれいな花を咲かせよう」を合言葉に会員一丸となって作業が行われました。

## 植栽作業が始まる

花いっぱい運動実施計画を策定  
玉川村花いっぱい運動協議会では、平成9年度の事業計画を策定し、計画を実施するための団体代表者会議(ボランティア)を開きました。今年度の計画では、32団体・約千六百名のボランティアにより、村内主要道路沿線にマリーゴールドとサルビアの苗四万五千本を植栽。また、プランター千百鉢にアゲラダムとペチュニアの苗を植えて、各ボランティアが管理することになっています。5月下旬から6月上旬までに各団体で植栽作業が行われ、夏には色とりどりの花を楽しむことができます。



各ボランティア団体の代表者が集まって協議

# 中体連石川支部陸上競技大会 400mリレー(1・2年の部) 泉中チームが優勝

中学校体育連盟石川支部陸上競技大会は、5月17日(土)に鏡石町の鳥見山陸上競技場で開かれました。当日は、あいにくの雨模様となり悪コンディションでの競技大会となりました。泉中学校の400mリレーチーム(1・2年の部)は、51秒5のタイムで見事優勝を飾り、7月8日からいわき市で行われる県大会への出場権を得ました。上位入賞者は、次のとおりでした。  
◆1・2年400mリレー 優勝(泉中) 曲山和宏君(1年)・矢吹洋昭君(2年)・小針和章君(1年)・溝井伸弥君(2年)・車田晋君(2年)・真弓英樹君(1年)  
◆1年100m 2位・小針和章君(泉中1年)  
◆2年100m 2位・溝井伸弥君(泉中2年)  
◆三種競技A 3位・須藤公平君(泉中3年)  
◆共通1,500m 3位・鈴木千裕さん(須釜中2年)  
◆共通100mハードル 3位・小針可奈さん(泉中2年)  
◆三種競技B 2位・渡辺給美子さん(須釜中3年)



1・2年400mリレーで優勝した泉中チーム



卓球ダブルス優勝の塩澤ペア 剣道女子個人優勝の石森さん

剣道団体・バレーも活躍  
中学校体育連盟石川支部総合大会は、6月3日(火)、4日(水)の2日間、石川町の各会場で行われました。石川勤労者体育センターで行われた剣道では、女子個人の部で石森希美さん(須釜中3年)が見事優勝。また、卓球ダブルスでは、塩澤徳之君と塩澤昌夫君のペアが優勝を飾りました。石森さん、塩澤ペアは、昨秋の中体連石川支部新人大会に続いての連続優勝となりました。主な上位入賞は次のとおりです。  
(剣道) ◆女子個人優勝 石森希美(須釜中3年) ◆3位 鈴木祐子(須釜中3年) ◆男子団体2位 泉中学校 ◆女子団体2位 須釜中学校 ◆3位 泉中学校  
(卓球) ◆男子ダブルス 塩澤徳之君(須釜中3年) 優勝 塩澤昌夫君(須釜中3年) ◆2位 佐久間誠君(須釜中3年) 宗形 勉君(須釜中3年)  
(バレー) ◆男子団体3位 須釜中学校 ◆女子2位 須釜中学校  
(柔道) ◆男子個人48kg級3位 車田晋君(泉中2年) ◆3位 泉中学校

# 中体連石川支部総合大会 剣道 石森さん、卓球 ダブルス塩澤ペア(須釜中)が優勝



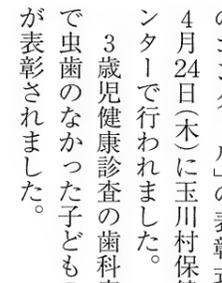
曲山 愛 (蒜生・浩範)



関根 悠平 (蒜生・秀樹)



丹内 翔美 (川辺・一彦)



白岩 佑樹 (岩法寺・義隆)



緑川 玲奈 (竜崎・智幸)



佐藤 浩平 (岩法寺・清貞)



白岩 佑樹 (岩法寺・義隆)



湯沢 晃平 (小高・徳雄)

平成9年度第1回「よい歯のコンクール」の表彰式が、4月24日(木)に玉川村保健センターで行われました。3歳児健康診査の歯科審査で虫歯のなかった子ども7名が表彰されました。

# よい歯のコンクール表彰

愛の献血をありがとう  
4月11日の献血者は、次の110名でした。あなたの愛に感謝いたします。  
(献血場所と献血者数) (敬称略)  
(トステム福島) 57名  
有賀久雄・安藤喜勝・石森明美・磯目勝寿・上野 弘・梅津 亨・大竹義和・大野光枝・岡田和貴・岡田 純・加藤一男・金澤誠隆・神尾孜子・菊地哲也・草野洋典・熊谷時男・車田好隆・小林ひろ子・小針京子・小針仁一・小針美香・斉藤信子・斉藤誠・櫻岡孝行・白坂武徳・鈴木正子・鈴木裕一・鈴木善則・須藤安昭・関 祐二・関根幸子・関根節子・関根由理子・瀬谷武寿・円谷直彦・戸塚昌彦・富永香織・中野一朗・長沼勝宏・永山節夫・二瓶敦子・八取みさえ・林正直・半澤明美・福原 奨・舟木貴志・真壁裕子・松本繁利・緑川 久・宮部京子・三吉春子・矢内緑・矢吹光義・湯澤政勝・吉田昌崇・渡辺三郎・和知美幸  
(福島富士) 36名  
会田 睦・有馬光伸・石井トヨ子・伊藤祐光・大竹宮子・大野泰子・萩田 宏・面川秀子・加藤裕一・熊谷幸恵・小林恵理子・小湊正勝・近内良子・榊枝栄子・榊枝新治・相楽千枝子・相楽浩一・塩澤美恵子・鈴木明子・鈴木広和・鈴木正純・須田清美・須藤弘子・為我井和子・千葉典夫・角田百合子・永沼弘司・福田紀久実・藤田貴子・古川隆・増子美保子・矢内篤史・矢吹耕治・矢吹俊幸・湯沢恵子・吉村まゆみ  
(玉川村役場) 17名  
石井久美子・遠藤豊子・草野正博・草野義房・国井初江・車田光子・車田ヨシ子・古寺貴栄・塩沢美代子・曲山孝夫・増子貞美・増子広行・水野ゆみ・溝井陳彦・溝井康夫・横田重紀子・吉田みどり



### 第43回玉川山野草展 かれんな草花を楽しむ

5/17  
~18

玉川山野草展が村就業改善センターで開かれました。会場には、山野草会会員39名から211点の草花が展示され訪れた人たちの目を楽しませていました。また、出展品のコンクールが行われ、次の方々が入賞しました。(敬称略)

	エビネの部	一般の部
会長賞	車田常代	溝井良伸
金賞	奥野四郎	奥野四郎
銀賞	草野光雄・溝井博道 大野勝良	草野光雄 佐藤ハルイ
銅賞	石井スイ子・福田端夫 車田秀子・伊藤教子 首藤ミサヲ	大野勝良・車田登茂 車田光雄・溝井博道
特別賞	車田常代	
努力賞	添田ナカ	車田登茂

### 福島県障害者総合体育大会 矢吹さんら大活躍

スポーツを通じて心身の維持増強と積極的な社会参加意識の高揚を図ることを目的とした第35回福島県障害者総合体育大会が会津若松市陸上競技場で開かれました。本村からは、10名の選手が出場しました。熱戦の末5名の選手が上位入賞を果たしました。

成績は、次のとおりでした。  
(敬称略)

矢吹義次(吉)	200m競争	金メダル
有賀 勝(吉)	ヤリ投げ	銀メダル
関根卯一(北須釜)	100m競争	銀メダル
佐久間 宏(北須釜)	200m競争	銀メダル
岩谷友房(小高)	100m競争	銅メダル



大会へ入賞した選手(前列左から矢吹、有賀、関根、岩谷、佐久間の各選手)



ソフトボール大会決勝戦(小高区対中区)



バレーボール予選リーグ(小高区対竜崎区)

### 行政区対抗村民球技大会 ソフトボール 小高区がダブルV

第27回村民ソフトボール大会と第36回村民家庭バレーボール大会は、村民グラウンドと勤労者体育センターで開かれ、それぞれ各区毎に編成された11チームが熱戦を繰り広げました。

村民グラウンドで行われたソフトボール大会は、小高区と中区による決勝戦で10-1で小高区が勝利をおさめ、優勝となりました。

勤労者体育センターでは、家庭バレーボール大会が行われ、小高区が優勝しました。

また、設置にあたって株式会社ユアテック須賀川営業所(斉藤八家所長)から電柱などの資材の提供と、工事は、社員の馬上徹さん(青井沢)のボランティアで行われました。

また、設置にあたって株式会社ユアテック須賀川営業所(斉藤八家所長)から電柱などの資材の提供と、工事は、社員の馬上徹さん(青井沢)のボランティアで行われました。

ました。その結果、小高区が平成7年度の大会から3年連続でのダブル優勝となりました。

なお、それぞれの優勝、準優勝チームは、7月20日に古殿町で行われる石川郡大会に出場します。

なお、大会の結果は次のとおりでした。

(ソフトボール) (バレーボール)

優勝 小高区 優勝 小高区  
準優勝 中区 準優勝 北須釜区  
3位 南須釜区 3位 山小屋区  
川辺区



ゴールまでもう少し(川辺小)



フレー、フレー赤組  
応援にも熱が入ります(須釜小)

### 玉川第一小学校が5月18日、川辺小学校が26日、須釜小学校が29日にそれぞれ大運動会が行われました。

川辺小学校では、「運動会、欲しいのは、ぼくの全力、みんなの声援」(須藤祐希くん作)をスローガンに、地元各種団体も参加して、かけっこ、綱引き、川辺競馬など29種目が行われました。日頃の練習の成果を発揮する児童の姿に大きな声援が送られていました。

### 精いっぱいがんばったヨ 村内各小学校で運動会



招待されたお年寄りも楽しそう(須釜小)



### どうか豊作になりますように

#### 四辻分校で田植え学習

5/27

須釜小学校(伊藤政憲校長)四辻分校の田植え学習会が行われました。

四辻分校PTA会長の塩田真一さんの田んぼ約20アールにもち米の苗を植えました。当日は、春の日差しが眩しく、田植えには絶好の好天に恵まれました。児童たちは横一列に並んで塩田PTA会長さんの指導で作業を開始。慣れない手つきで悪戦苦闘のすえ約1時間で終了。

この日に植えられた苗は、秋には再び児童たちの手で収穫され、10月の「体育学習会」の際に赤飯として、また、12月のお年寄りとの「ふれあいの会」には餅つきをして食べることになっています。

### 防犯灯を設置 夜道の不安解消

須釜地区防犯協会(境田孝意会長)では、南須釜字花見堂地内の通称「ウバ坂」に防犯灯2機を設置しました。

同地内は、山小屋地区の児童、生徒の通学路にもなっており、人家も無く寂しいところ。防犯灯が設置されたことにより夜間通行の不安が解消されました。

5/27



また、設置にあたって株式会社ユアテック須賀川営業所(斉藤八家所長)から電柱などの資材の提供と、工事は、社員の馬上徹さん(青井沢)のボランティアで行われました。

福島県大規模土地利用事前指導要綱

平成9年7月1日から

この要綱は、大規模な開発行為における総合的な事前指導の手続きを定めることにより、地域の諸条件に応じた適性かつ合理的な土地利用を誘導することを目的としています。

◆事前協議が必要な開発行為  
 (1) 開発区域が5ha以上である場合  
 (2) 開発区域内に農地転用許可を要する2haを超える農地を含む場合

※ただし、都市計画法の市街化調整区域又は用途地域内における開発行為等には適用されません。

◆事前協議の時期  
 開発行為に係る法令等に基づき

ふるさと福島県にUターンを希望する方へ

福島県では、県外に居住し、県内地元企業にUターン就職を希望される方を対象にUターン登録制度(人材ガイドネットワーク事業)を実施しております。

これは、Uターンを希望しても、地元企業の情報が不足し、Uターンに踏み切れない方が、あらかじめ市町村又は公共職業安定所にUターン希望の条件を登録しておき、自分の希望する求人(企業)情報の提供又はあっせんを受けようとするものです。

詳しくは、村役場、もよりの公共職業安定所(ハローワーク)、ふるさと福島就職情報センター(〒110 東京都台東区上野2丁目12-14 ふくしま会館2階 ☎03-3834-6230)までおたずねください。

づく許認可の申請等をする前に協議して下さい。

◆事前協議書の提出  
 「大規模開発行為計画事前協議書」に必要な書類を添付して、開発区域の土地が所在する市町村長を経由して知事に提出して下さい。

◆審査内容  
 開発行為に係る法令等に基づく許認可の見通しを土地利用計画等への適合性から判断します。

◆事前協議に要する期間  
 標準的な処理期間は12週間程度です。

◆問い合わせ先  
 ●福島県企画調整部土地調整

地方分権推進スローガン募集

課 ☎0245-217125  
 ●県中地方振興局地域振興課又は市町村担当課まで

「ゆとりと豊かさを実感できる社会づくり」を目指す地方分権の実現のためには、地域の方々と行政が一体となって取り組んでいかななくてはなりません。

このため県では、今後県が住民の皆さんと協力して地方分権を進めていく上での方向性や決意をコンパクトにまとめたスローガンを募集します。多数ご応募下さい。

▼応募資格 県内居住者又は県内通勤、通学者  
 ▼応募方法 はがき、ファックス、電子メールで応募  
 ▼応募締切 7月20日  
 ▼表彰 最優秀賞3点(副賞2万円)  
 ▼応募・問い合わせ先 玉川村総務課又は〒960-170 県庁人事課 ☎0245-7036 FAX0245-7036 Eメール 21-7909

personel@pref.fukushima.jp

赤坂団地 宅地分譲のお知らせ

福島県住宅供給公社では、川辺の赤坂団地(十四区画)の分譲住宅(宅地)の購入者を先着順受付で募集しております。

なお、詳しいことはお問い合わせください。



◆お問合先・申込受付場所  
 玉川村役場企画財政課  
 TEL 0247(57)4629

サマージャンボ

1億5,000万円 宝くじ

発売期間 7月22日~8月8日

この宝くじの収益金は、市町村の行う公共事業に役立てられます。



伝言板

~図書室新書案内~

今、話題のベストセラー



渡辺淳一氏の「失樂園」上・下

が入りました。

訂正 広報たまかわ5月号6ページの固定資産審査評価委員の「塩沢藤男さん」は「塩沢藤雄さん」の誤りでした。お詫びのうえ訂正させていただきます。

6月7月の健康ごよみ

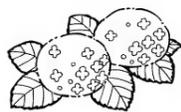
- 6月
  - 19日(木) 日本脳炎予防接種 午後1時~
- 7月
  - 4日(金) 機能訓練 午前10時~
  - 9日(水) 股関節脱臼検診 午後1時30分~2時
  - 10日(木) 日本脳炎予防接種 午後1時~
  - 11日(金) 7・8カ月児健康相談 午前10時~ 1歳時お誕生健診 午後1時~

保:保健センター 須:須釜公民館  
 中谷:中谷農村婦人の家 受:受付時間

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 川辺の須藤利弘さんから 3万円
  - 竜崎の小林一之さんから 2万円
  - 中の小針幸吉さんから 10万円
  - 小高の國井武一さんから 5万円
  - 蒜生の石井金幸さんから 2万円
  - 小高の須藤清重さんから 3万円
  - 北須釜の草野昭吉さんから 1万円
- (村社会福祉協議会)



村のようす

(9年6月1日現在)

- 1,731戸(-3)
- 7,625人(-5)
- 3,728人(+2)
- 3,897人(-7)

お誕生おめでとうございます

(5月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
小高	吉田 隼人	正 誠明
岩法寺	添田 沙羅	健 児之宏
〃	村越 麗楓	博 昌弘
〃	薄井 優香	政 満洋
〃	金澤 優悟	
竜崎	滝川 祐也	
南須釜	阿部 椋太	
〃	佐藤 椋太	
北須釜	草野 祐太	

おくやみ申し上げます

(5月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	須藤 利次	92	利 弘
蒜生	石井 ハナコ	83	金 幸一
小高	國井 シチ夫	86	武 幸一
中	小針 武夫	73	幸 吉
竜崎	小林 ミヨ	79	之 吉
北須釜	草野 ハルヨ	63	昭 吉

歌愁短歌会玉川支部詠草集

矢の如く飛び来る影よ軒先に一番乗りのつばめのつがい  
 背戸にある石楠花の花咲き始め猫も下から眺めているかも  
 空港で様変わりゆく村のこと地下の祖先に一目見せたい  
 太陽と名のある牡丹に今日も降る無情の雨に傘さしかける  
 目に見れどこころの眼開かずば眠りしままに暮は閉じたい  
 悔恨のおもひ払えてみちゆけば埃がにおう街の夕暮れ  
 手を合わせ祈れば暮は朝露をほろりとこぼす光の如く

村公民館

今月の納税

【納期限は6月25日(水)です。忘れずにお納めください。】  
 村 県 民 税 第1期  
 国民年金保険料 6月分

- 小針 登里
- 吉田 サヨ
- 小針 守次
- 真弓 はん
- 白旗 隆
- 諏訪イセ子
- 登那木きみ

# 趣味の達人

③

## 『絵画・短歌』……

小針欣子さん

今月は小高にお住まいの小針欣子さん(八十二歳の絵画と短歌をご紹介します。

「絵をかき始めたのはいつ頃からですか？」

「子供の頃から好きだったんです。学校の授業で絵をかき程度でしたけど。特別、絵の先生に習ったということは無いです。全くの自己流です。」

「絵画には油絵や、墨絵など、いろいろと種類があります。どの手法でかかれていますか。」



最近の作品を手にする小針さん

「一枚の絵を、かき上げるの自由ですので、カレンダーの写真などを素材にかくことができますね。」

「いいえ。花、人物など何でもかきます。最近、足が不自由ですので、カレンダーの写真などを素材にかくことができますね。」

「どれくらいの日数を要しますか？」

「だいたい下書きに1日、仕上げに3〜4日くらいかかりますね。」

「自分で好きな絵のジャンル(部門)は何ですか？」

「特にこれはないということもありませんが、山水画風のものが好きですね。」

「絵を描くことの良さは何でしょうか。」

「年齢に関係なく、高齢になってもできることがいいと思います。」

「短歌を創られるのですが、はい、約20年くらいやって

います。これも特に習ったというわけではありません。自己流です。自分で短歌集を作っていますが、第24号になりました。」

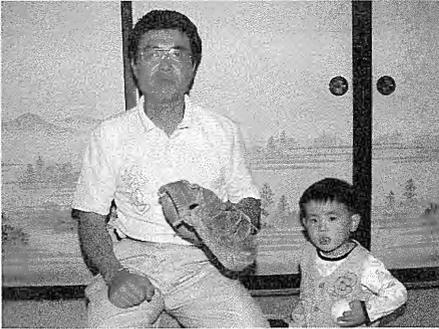
「習ったことが無かったということですがどうですか。」

「テレビの趣味の講座や書籍を参考にした程度で、全くの独学です。」

「最近、創られた作品を紹介してください。」

「プランターに種別を印す札を立て、花の種類、午後のひととき」

(絵画と短歌のほかにもカメラやすずみし飼育と多彩な趣味を持っています。)



汗と涙が染み込んだミット

## シリーズ「私の宝もの」②

塩沢 弘さん(南須釜)

私の大切な宝ものは、この硬式用の野球ミットです。

昭和50年、私は甲子園出場を夢みて学法石川高校に入学、そして野球部に入部しました。その時、親に買ってもらったミットです。

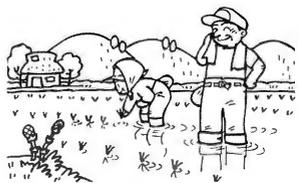
学法石川野球部の練習は、とても厳しく辛いものでした。このミットは、苦しい練習、勝利の喜び、負けた悲しみなど私の野球部での活動の全てを知り尽くしている私の大事な宝ものです。

私が入った翌年の昭和51年先輩たちの活躍で、春・夏連続で甲子園初出場を果たしました。

ここから学法石川野球部は甲子園出場の常連校となりました。私は、3年生になり県大会にシード校として出場。甲子園出場を目指しましたが、3回戦で安積高校に無念の敗退。甲子園出場は幻となりました。今も、このミットを見ると、野球に打ち込んだ高校時代を思い出します。

故郷の皆さん、玉川会の皆さん、お元気ですか。田舎では、田植えも終わり一段落ついたことと思われ。私が子供の頃の昭和二十年代は、六月頃の田植えだったような気がします。私たち子供も勉強よりも家の手伝いや自分に決められた仕事がありました。学校から帰ってくると直ぐに田植え前の田んぼ作り、いわゆる『牛の鼻どり』というのをさせられました。身体全体が泥こんになってがんばってやりました。田植えの時は、農繁期の休みと言って、学校も一週間位休みになりました。一日中、田植えをして足腰が痛かったことやヒルに血を吸われて血が出たことが思い出されます。また、田んぼの畦道にゴザを広げて、大したおかずは無かつ

たけれども、うぐいすの声を聞きながら家族皆で食べた昼ごはんは、本当に懐かしく思い出されます。貧しい時代でしたが、「家族の絆」がしっかりと結ばれていたような気がします。「大人も子供も一緒になって何かをやる、一つの事をやり遂げる」漠然とした言葉ですが、今の子供達には大切なような気がします。遊びや手伝いをもっとさせたいものだと思います。取り留めのない文になつてしまいましたが、ふる里の自然を残しながら発展させられますことを願っております。



### 東京玉川会コーナー



## 心に残る 我がふるさと

『田植えの頃の思い出』

吉田 康さん  
(川辺出身・吉田 清さんの弟)



旧江戸城の庭園にて、妻と